



# WEEKLY REPORT

No. 1565(第15回) 2019年11月20日(水) 点鐘:19時00分 於:勇屋会館

例会/毎週水曜日 12:45~ 例会場/勇屋会館 事務所/安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F  
TEL0263(73)2901 FAX0263(72)3181 E-mail azumirc@poppy.ocn.ne.jp

会長 中村 忠 幹事 小穴 実

2019~2020年度 R.1テーマ

ロータリーは世界をつなぐ

R.1会長 マーク・ダニエル・マローニー

クラブ標語:「It is much More Important how to be good, rather than how to do good」

~11月はロータリー財団月間です~



★ 配布 ・幹事報告13号

★ゲスト 米山奨学生 グェントウエトフォン様

★ 会長挨拶 [中村会長]



1920年に日本で初めて創立された東京ロータリークラブが、2020年10月20日で創立100周年を迎えます。

日本のロータリー100周年実行委員会では、さまざまな取り組みを計画しているようです。

その一つとして、例会で使われる「鐘」を東京ロータリークラブと共に制作し、国内全地区に送られました。古川ガバナーはその「鐘」を公式訪問の際に持参し、例会で点鐘していただきました。

小穴さんが一昨日から神戸で行われたロータリー研究会より100周年記念のピンバッジをお持ちいただきました。

ところでその東京ロータリークラブのことですが、東京RCは、米山梅吉と福島喜三次の出会いに始まります。1918年1月、米山梅吉は日本政府の財政調査団に加わって渡米。ダラスRC会員の福島喜三次に会い、初めてロータリー運動に接し、大いに心を動かされました。帰国後、米山梅吉は2年余りロータリー精神と組織の研究に努めました。

当時の日本は経済も不安定で、ロータリー精神が容易に受け入れられるような状況ではありませんでした。



しかし、米山梅吉の熱意は少しも衰えることはありませんでした。

1920年1月に福島喜三次も帰国、ロータリークラブの創立に向け具体的な準備作業が進められました。創立総会は、その年の10月20日、会員24人で開催されました。総会では初代会長に米山梅吉、幹事に福島喜三次を選び、国際ロータリーに加盟を申請、翌年4月に承認されました。

2020年に東京RCは、「祝!100周年 原点に立つと未来が見える、Participate!」を合言葉に創立100周年を祝賀するとともに、クラブの未来を見つめる機会にしたいと考えています。2005年シカゴRCの創立100周年を、ロータリーの創立100周年として祝ったのと同様に、2020年には、日本のロータリー100周年実行委員会のスローガン「日本ロータリー100周年、超我の奉仕に魂を!」のもと、日本中のロータリークラブで祝い、共に発展を目指したいと思います。

としています、

今日からこのピンバッジを皆さんでつけて、日本のロータリー100周年を祝う機運を盛り上げて行きましょう。

★ 幹事報告 [小穴幹事]



別紙参照

◇出席

会員総数 27 名 出席免除会員数 3 名	
本日の出席率	前々回 (11 月 6 日修正出席率)
出席者 : 11 名	欠席者 : 14 名
欠席者 : 13 名	メキップ : 10 名
出席率 : 66.66%	出席率 : 83.33%

◇ニコニコ BOX

赤羽 : 寒くなりました。

濱 : 大変寒い一日でした。風邪をひかぬ様、気を付けましょう。

石田 : 寒くなりましたね。

笠原 : 寒いですね。ご自愛を。

丸山 (慶) : 寒くなりました。夜間例会楽しくお願いいたします。

中村 : 寒くなりました。今日は少し雪が舞いました。ご自愛ください。

小穴 : 遅刻

高木 : 寒い寒い

[27,000 円]

今年度ニコニコBOX計 289,800 円



★夜間例会

